I·O DATA

ISAバス搭載 DOS/V用Ethernet LANアダプタ

ET-ISAシリーズ

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

5538-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器 PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、1部だけ複写できるものとします。
（ただし5ボードセット品については、5ユーザーまでの使用が可能です。）
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)

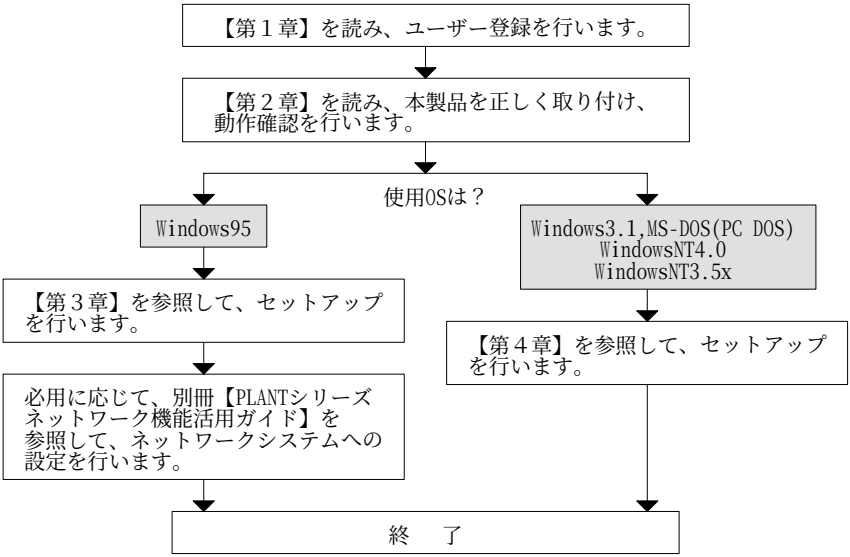
- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNT,MS,MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Ethernetは、米国 Xerox Corporationの登録商標です。
- NetWareは、米国 Novell,Inc.の登録商標です。
- ArtisoftとLANtasticは、米国 Artisoft,Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、DOS/Vマシン用LANアダプタボード「ET-ISAシリーズ」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書をご覧になるにあたって

・ 本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



• 呼び方

呼び方	意 味
ET-ISAシリーズ	ET2/T-ISA及びET/T-ISA
「ネットワークOS」または「NOS」	Network Operating System
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
WindowsNT4.0	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0
WindowsNT3.5x	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version3.5及びVersion3.51
Windows3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version3.1
Windows	Windows95,WindowsNT4.0,WindowsNT3.5x及びWindows3.1の総称
PnP	プラグ＆プレイ

• ハードウェア構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

《ドライブ構成》

A：フロッピィディスク装置3.5インチ(1.44MB/720KB)

C：ハードディスク装置

使用するOSがインストール済みで起動可能

D：CD-ROMドライブ装置

はじめに i
目次 iii

第1章 ご使用になる前に……1

1.1 特徴 1
1.2 箱を開けたら 2
1.3 動作環境 4
1.4 取り扱い及び使用上の注意 5
1.5 実行用ディスクの作り方 6

第2章 取り付け方法……7

2.1 各部の名称 7
2.2 LEDインジケータ 8
2.3 取り付け方法 9
2.3.1 取り付け前に 9
2.3.2 取り付け 10
2.4 動作確認 12

第3章 日本語Windows95で使用するには ……18

3.1 「ﾌﾟﾗｸﾞ&ﾌﾟﾚｲ」モードでのインストール 19
3.2 「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」モードでのインストール 22
3.3 インストール後の確認 26

第4章 他のOSで使用するには……28

4.1 日本語Windows3.1及びMS-DOSへのセットアップ..... 28
4.1.1 NetWare 3.12J/4.1J/4.11Jへのｾｯﾄｱｯﾌﾟ..... 28
● サーバの設定..... 28
● クライアントの設定..... 32
4.1.2 Microsoft LAN Manager V2.1xへのセットアップ..... 33
4.1.3 Personal NetWare J1.0へのセットアップ..... 34
4.1.4 LANtastic 6.0へのセットアップ..... 34
4.2 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ..... 35
4.3 日本語WindowsNT3.5xへのセットアップ..... 41

付録1 困った時には……43

● 自己診断中のトラブル..... 43
● Windows95上でのトラブル..... 45

付録2 仕様……48

付2.1 パソコン環境を確認しましょう..... 48
付2.2 ハードウェア仕様..... 51

PLANTコールセンターへのお問い合わせ..... 52
サポートソフトのバージョンアップ..... 53
修理について..... 54

第1章 ご使用になる前に

この章では、ET-ISAシリーズをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

●Ethernet IEEE 802.3に準拠しています。

●「プラグ＆プレイ」に対応した16bitLANボードです。

●ACCTON社のMPX2（Multi Packet Accelerator 2）テクノロジーによって環境設定やデータのスループットなどに高いパフォーマンスが得られます。

●フル･デュプレクス機能に対応しています。
フル･デュプレクス機能に対応しているスイッチングハブなどと組み合わせることにより同時にデータの送受信が行え、より高いパフォーマンス（理論値2倍[環境によって異なります。]）が得られます。

●ネットワーク状態の監視用LEDインジケータが装備されています。

●RJ-45[10BASE-T]（ET2/T-ISAの場合はBNC[10BASE2]も使用可能です。）が使用できます。

●ソフトウェアで環境設定を行うスイッチレス設計です。

●Novell NetWare,Windows95,WindowsNT4.0/3.5xに対応しています。

1.2 箱を開けたら

• 同梱構成品

・スタンダードセット

No.	内容物	個数	備考
1	LANアダプタボード	1枚	ET/T-ISAまたはET2/T-ISA
2	ET-ISAシリーズサポートソフト	1枚	3.5インチ2HD (1.44MB)
3	取扱説明書	2冊	ET-ISAｼﾘｰｽﾞ取扱説明書(本書) PLANTｼﾘｰｽﾞ ﾈｯﾄﾜｰｸ機能活用ｶﾞｲﾄﾞ
4	Verシール	1枚	
5	ハードウェア保証書	1枚	
6	ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
7	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
8	BNC T型コネクタ	1個	ET2/T-ISAのみ添付
9	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

・5ボードセット

No.	内容物	個数	備考
1	「はじめにお読みください」	1枚	差し込み
2	LANアダプタボード	5枚	ET/T-ISA
3	ET-ISAシリーズサポートソフト	1枚	3.5インチ2HD (1.44MB) 本ｿﾌﾄｳｪｱは、1ｾｯﾄ分で5ﾕｰｻﾞまで使用可能です。
4	取扱説明書	2冊	ET-ISAｼﾘｰｽﾞ取扱説明書(本書) PLANTｼﾘｰｽﾞ ﾈｯﾄﾜｰｸ機能活用ｶﾞｲﾄﾞ
5	Verシール	1枚	
6	ハードウェア保証書	5枚	
7	ハードウェアシリアルNo.シール	5枚	
8	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
9	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足品がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

• ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1) **添付のVerシールを<u>ユーザー登録カード</u>、<u>サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄</u>、<u>本書の巻末</u>に貼ってください。**
2) **ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、<u>必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください</u>。**



注 意

1)弊社 PLANTコールセンターでのユーザーサポートは、ユーザー登録カードをご返送くださった方のみが対象となります。<u>お買い上げいただいた製品ごとに必ずご返送ください。</u>
2)必要事項のご記入もれや、必要なシールの貼り忘れがあった場合は、ユーザー登録できませんので必ずご確認ください。

1.3 動作環境

ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

• 対応機種

CPU 386SX以上で16bitのISAバスを搭載したDOS/Vマシン※

※　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

• 対応OS

日本語Windows95
日本語WindowsNT4.0/3.5x
日本語Windows3.1
MS-DOS(PC DOS)Ver.5.0以上

• 対応NOS環境

クライアント・サーバ

日本語Windows95
日本語WindowsNT4.0/3.5x
NetWare 3.12J/4.1J/4.11J
Microsoft LAN Manager V2.1xJ

ピア・ツー・ピア型

日本語Windows95
日本語WindowsNT4.0/3.5x
Personal NetWare J1.0
LANtastic for Windows95
LANtastic 6.0

ネットワークプロトコル

packet driver for FTP TCP/IP,
ODI4.0,NDIS2.x/3.x

1.4 取り扱い及び使用上の注意

・ 本製品の取り付けや取り外しは、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源を切り、コンセントを外してから行ってください。故障の原因になることがあります。

・ 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱ってください。

・ 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。
・分解や改造などをしないでください。
・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

・ 保証について
◎ 保証期間
・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。
◎ 保証範囲
次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。
・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

1.5 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。（以下はフロッピィディスクドライブがAドライブの場合）

1. 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピィディスク(3.5インチ2HD)を用意します。
2. サポートソフトウェアディスクを書き込み禁止にします。
3. **Windows95の場合**は、『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の「3.5ｲﾝﾁ FD(A:)」を右クリックし「ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ」を選択します。

   Windows95の例)



   Windows3.1 (MS-DOS,PC DOS) の場合は、MS-DOSのコマンド入力状態で DISKCOPY コマンドを実行します。

   MS-DOSの例)

```
C:\>diskcopy a: a:・
```

（下線部入力）

4. サポートソフトウェアディスクと空きフロッピィディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

注 意

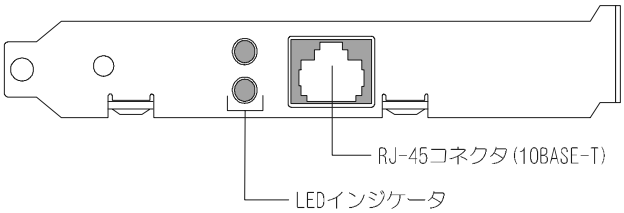
サポートソフトウェアディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートソフトウェアディスクは大切に保管してください。

第2章 取り付け方法

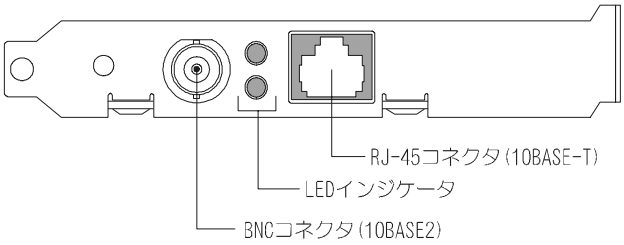
ET-ISAシリーズは、ISAバス仕様の拡張スロットに装着することができます。
この章では、パソコンにET-ISAシリーズをセットアップする方法を説明します。

2.1 各部の名称

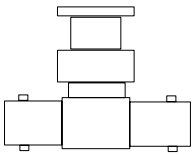
● ET/T-ISA



● ET2/T-ISA

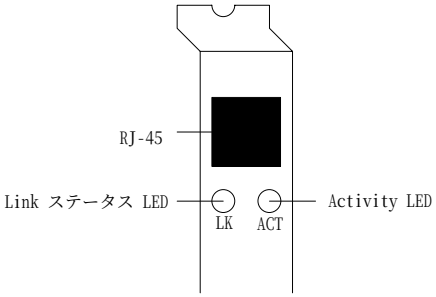


● BNC T型コネクタ(10BASE2)



2.2 LEDインジケータ

LEDインジケータ



● **Link ステータス LEDインジケータ**

Link(LK)ステータスLEDインジケータは、パワーインジケータとネットワークリンクステータスインジケータとして機能します。
このLEDは、ET-ISAシリーズがパソコンから電力の供給を受け、ハードウェアとソフトウェアが適切にセットアップされている時、常に点灯しています(緑色)。そうでなければネットワーク回線接続をチェックしてください。

注 意

このLEDは、BNC接続のステータスには反応しません。ネット回線の接続タイプをチェックする場合は、etsetup.exeの「LANアダプタの自己診断及び設定」を使用してください。(［2.4 動作確認］(P12)参照)

● **Activity LEDインジケータ**

Activity(ACT) LEDインジケータは、データの送受信状態を示します。緑色の点滅（点灯）状態は、ネットワークの利用状況を示しています。

2.3 取り付け方法

2.3.1 取り付け前に

この項では、Windows95のバージョンの確認方法を説明します。他のOSをお使いの場合は、読みとばしてください。

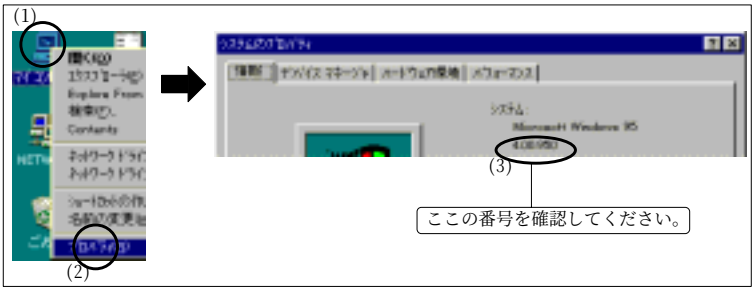
《Windows95のバージョン確認》

Windows95を使用している場合、Windows95のバージョン（4.00.950、4.00.950a、4.00.950 B）によってインストール手順の一部が異なる場合があります。ET-ISAシリーズを取り付ける前に、まず以下の確認方法でWindows95のバージョンを確認し、メモなどに書き留めておいてください。

確認後、一旦Windows95を終了し、パソコンの電源を切って次ページの【2.3.2 取り付け】を参照してET-ISAシリーズをパソコンに取り付けてください。

＜確認方法＞

「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」にマウスカーソルを合わせてマウスの右ボタンを押し(1)、現れたメニューから「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」を選択します(2)。「ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」に表示される番号を確認してください(3)。



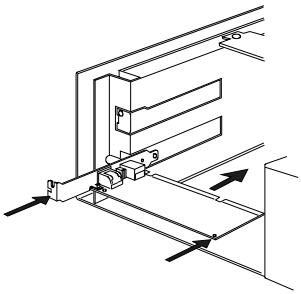
2.3.2 取り付け

1 パソコンの電源スイッチを切り、周辺機器に接続されているケーブルを全て取り外します。

2 パソコンのカバーを取り外します。取り外し方については、パソコンの取扱説明書を参照して下さい。

3 空いているISA用の拡張スロットカバーを取り外してください。

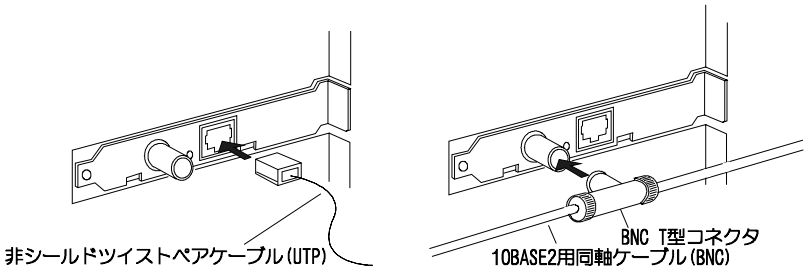
4 ISA用拡張スロットにET-ISAシリーズを取り付けます。
ET-ISAシリーズが拡張スロットに適切に装着されることを確認しながら押し込みます。



5 ISA用拡張スロットにET-ISAシリーズが確実に固定されるように、スロットカバー用のネジを取り付けます。

6 手順1や2で取り外した、パソコンのカバーと全ての周辺機器やケーブルを元に戻します。

7 **ET-ISAシリーズをネットワークに接続します。（10BASE-T用 非シールドツイストペアケーブルまたは10BASE2用 同軸ケーブルのどちらか一方を接続してください。）**



以上で取り付けは終了です。取り付け後、次ページ以降を参照して動作確認を行ってください。

2.4 動作確認

ET-ISAシリーズの動作確認を行います。
動作確認は、MS-DOS上で動作する etsetup.exeで行います。etsetup.exeはLANアダプタボードの自己診断による動作確認を行います。


特に注意

1)Windows上のDOSプロンプトから実行しないでください。
2)動作確認を行う場合は、config.sysやautoexec.batに各種ネットワークドライバ（NetWare,MS LAN Manager,LANtastic等）を組み込まない状態でテストを行ってください。
組み込まれたまま動作確認を行うと、パソコンがハングアップしたり、EEPROMの内容が破壊されたりして正常に動作しなくなる場合があります。
EEPROM等の修理は、有償修理となりますのでご注意ください。

診断及び設定の終了後、NetWareクライアントにET-ISAシリーズの設定を反映させる事ができます。画面の指示に従って作業を進めてください。ただし、設定の反映はNetWareクライアントをインストールした後に行ってください。インストールしていない場合は、「終了」を選んでください。

1 **周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れ、ハードディスクからMS-DOSを起動します。**
（Windows95を使用している場合は、Windows95の起動時（Starting Windows95...の表示中）に[F8]キーを押し、「Microsoft Windows95 Startup Menu」が表示されたら「Command prompt only」を選択してDOSプロンプトを起動してください。）


参 考

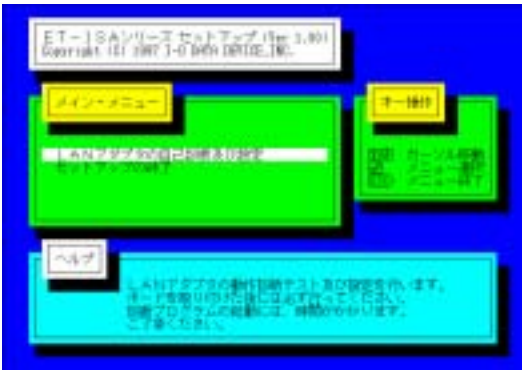
メモリマネージャやその他のデバイスドライバと競合する場合は、「Command prompt only」を選択する前に[SHIFT]+[F8]キーでStep-by-step confirmationモードを「Y」に切り替えてから起動してください。途中、競合するドライバを組み込まないように選択しながら、
DOSプロンプトを起動してください。

2 フロッピィディスクドライブに添付の「ET-ISAシリーズサポートソフト」ディスクをセットし、下記のようにセットアッププログラムを起動します。

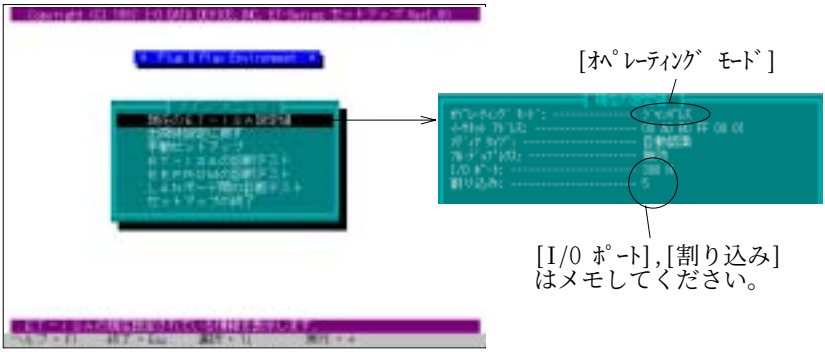
書式　［フロッピィディスクのドライブ名］:\etsetup

例）C:\>a:\etsetup・　　（下線部入力）

セットアップ画面が表示されたら「ＬＡＮアダプタの自己診断及び設定」を選択してください。



3 「メイン メニュー」画面が表示されます。
「現在のＥＴ－ＩＳＡ設定値」を選択してET-ISAシリーズの設定値を確認します。
「I/O ﾎﾟｰﾄ」や「割り込み」等が他の周辺機器と重複する場合は、「手動セットアップ」で重複する設定を変更するか、いったんセットアッププログラムを終了して、MS-DOSコマンド入力状態へ戻ります。電源を切り、重複している周辺機器の設定を変更してください。



注 意

WindowsでET-ISAシリーズを使用する場合は、設定した「I/O ﾎﾟｰﾄ」,「割り込み」をWindows上でのET-ISAシリーズの設定と一致させる必要があります。「I/Oポート」及び「割り込み」の設定値は、メモなどに書き留めておいてください。

4 ET-ISAシリーズの設定値を変更する場合は、「メイン メニュー」から「手動セットアップ」を選択してください。オペレーティング モードを「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」に設定し、パソコン環境、ネットワーク環境に応じて各項目を設定変更してください。



ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ	(ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ、ﾌﾟﾗｸﾞ & ﾌﾟﾚｲ)
ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ	(自動認識、10Base-T、リンク テスト無効)
ﾌﾙ･ﾃﾞｭﾌﾟﾚｸｽ	(無効、有効)
I/O ポート	(200h～3E0h)
割り込み	(2～15)

●オペレーティング モード

表示された「手動セットアップ」メニューは、オペレーティング モード（「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」または「ﾌﾟﾗｸﾞ&ﾌﾟﾚｲ」）によって変化します。
下記のいずれかに該当する場合は、オペレーティング モードを「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」に設定してください。

・パソコンが「PnP」に対応していない場合
・「PnP」に対応していない周辺機器と併用する場合
・強制的にリソースを指定したい場合
・WindowsNT4.0をお使いの場合

●メディア タイプ
トランシーバの設定は、使用しているET-ISAシリーズのタイプに依存します。
それは、ネットワーク回線タイプに従う必要があります。
通常はシステムに回線タイプを自動認識させるための「自動認識」を選択してください。
（出荷時設定は「自動認識」）

●フル･デュプレクス
接続しているサーバや全ての相互連結のデバイス(例えば、スイッチングハブ)がこのモードに対応している場合、フル･デュプレクスを「有効」に設定してください。（データ送受信が同時に行えるため理論値2倍の高速転送を実現します）

●I/O ポート
表示されたリスト(200h～3E0h)からの利用できるベースアドレスを20h単位で選択します。（出荷時設定は、300hです。）
選択したアドレスをベースに、アドレスの32バイトが使用されます。

●割り込み
利用できるハードウェアの割り込みを、表示されたリスト(2～15)から選択してください。

各項目が他の周辺機器の環境と競合していないか確認してください。


注 意

「I/O ポート」、「割り込み」がパソコン本体や他の拡張ボードと重複しているとパソコン本体が起動できなくなる場合があります。重複しないように設定してください。

5 設定したET-ISAシリーズの環境の確認画面が表示されますので、[Yes]を選択し環境を更新してください。

6 必要に応じて自己診断プログラムでET-ISAシリーズをテストしてください。
ET-ISAシリーズのセットアップ状況をテストするためには、「メイン メニュー」から「ＥＴ－ＩＳＡの診断テスト」または「ＥＥＰＲＯＭの診断テスト」を選択してください。

「ET-ISAの診断テスト」の場合

このテストは、ET-ISAシリーズと対応して回線システムを監視します。
（このテストでは、ネットワーク上のET-ISAシリーズ間テストは行いません。）
画面には、各々のテストの「正常」または「異常」のカウント数を表示します。テストが異常の場合は、スペースキーを押すことによって対応可能なメッセージを表示します。
ET-ISAシリーズのテストは、次の項目をチェックします。（[ESC]キーで中止するまでチェックを続けます。「正常」のカウンタが5000を示すまでの間、「異常」がカウントされないことを確認すれば良いでしょう。）

- **「装置構成　テスト」.....ET-ISAシリーズの初期状態チェック。**
- **「I/O　レジスタ　テスト」.....I/Oポートアクセスのチェック。**
- **「内部　ループバック　テスト」.....ET-ISAシリーズのコントローラのチェック。**
- **「外部　ループバック　テスト」.....ネットワークリンクをチェック。**
- **「RAM　テスト」.....ボードの側のRAM状態をチェック。**



注 意

トラブルが持続するならば、LAN間接続（ケーブル、ハブなど）が確実に接続されていることを確認し、トラブルを確定するためにパソコンを再起動して再び「ET-ISAの診断テスト」を動かしてください。

「EEPROMの診断テスト」の場合

ET-ISAシリーズのボード上EEPROMの診断テスト（各レジスタのリード/ライト）を動作させ、異常のないことを確認してください。



特に注意

このテスト中に再起動、リセット、電源OFFなどを行うとEEPROMの内容が破壊され、正常に動作しなくなります。この場合は有償修理となりますのでご注意ください。

7 **必要に応じてネットワークに対する診断を行ってください。**

ネットワークが接続されている環境で、装着後のET-ISAシリーズの能力を確かめるために、メインメニューから「ET-ISA間の診断テスト」を選択してください。少なくとも1台のパソコンに送信側（イニシェータ発信準備）を、少なくとも別のもう1台のパソコンに受信側（レスポンダ受信準備）をセットアップしてください。このテストは、ネットワークのデータ送受信をテストします。

ただし、送信側、受信側ともET-ISAシリーズを使用する必要があります。

レスポンダは、ネットワークの各々のイニシェータで通信のステータスを表示し、イニシェータは、現在のレスポンダと対応する通信のステータスを表示します。



注 意

すでに存在しているネットワーク環境に接続してテストを行う場合は、事前にネットワークシステム管理者にご相談ください。

第3章 日本語Windows95で使用するには

この章では、第2章で取り付けたET-ISAシリーズをWindows95で使用する方法を説明します。

ET-ISAシリーズをWindows95で使用するには、ET-ISAシリーズのWindows95用のドライバのインストール及びネットワークの設定が必要です。ただし、ET-ISAシリーズの「ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ」が「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」か「ﾌﾟﾗｸﾞ&ﾌﾟﾚｲ」によって、Windows95へのインストール手順が異なります。

（「ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ」の確認方法は、【2.4 動作確認】の「ＬＡＮアダプタの自己診断及び設定」の手順3(P13)での「現在のＥＴーＩＳＡ設定値」を選択すれば確認できます。）

注 意

インストールの前には必ず【2.4 動作確認】(P12)を参照して動作確認を行って診断テストが正常なのを確認してください。

1.「ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ」が「ﾌﾟﾗｸﾞ&ﾌﾟﾚｲ」の場合

次ページの【3.1「ﾌﾟﾗｸﾞ&ﾌﾟﾚｲ」モードでのインストール】を参照してください。

2.「ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ」が「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」の場合

【3.2「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」モードでのインストール】(P22)を参照してくださ い。

3.1 「ﾌﾟﾗｸﾞ&ﾌﾟﾚｲ」モードでのインストール

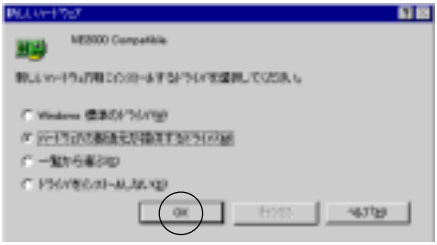
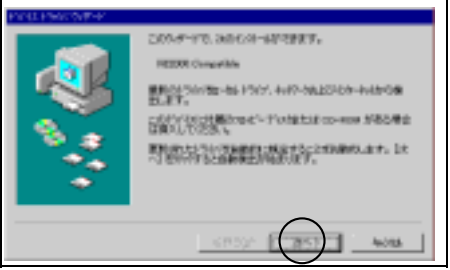
Windows95のバージョンによってインストール手順が異なります。【2.3.1 取り付け前に】(P9)を参照してお使いのバージョンを確認してください。

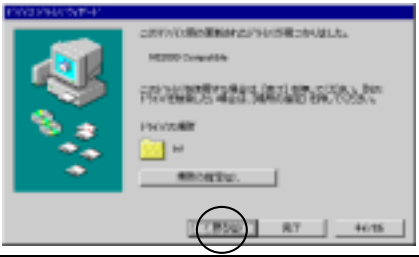
注 意

Windows95のバージョンの確認は、ET-ISAシリーズをパソコンに取り付ける前に行ってください。

＜Windows95のバージョンが4.00.950または4.00.950aの場合＞
以下の各手順での「Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合」の欄をご覧ください。

＜Windows95のバージョンが4.00.950 Bの場合＞
以下の各手順での「Windows95 4.00.950 Bの場合」の欄をご覧ください。

Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合	Windows95 4.00.950 Bの場合
1 パソコン及び周辺機器の電源を入れ、Windows95を起動します。	
2 しばらくすると、Windows95がET-ISAシリーズを検出し、『新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ』画面が表示されます。[ﾊｰﾄﾞｳｪｱの製造元が提供するﾄﾞﾗｲﾊﾞ]を選び、[OK]ボタンをクリックします。	2 しばらくすると、Windows95がET-ISAシリーズを検出し、『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面が表示されます。「ET-ISAｼﾘｰｽﾞｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィドライブに挿入し、[次へ>]ボタンをクリックします。

Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合	Windows95 4.00.950 Bの場合
3 「ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィドライブに挿入します。 「配布ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」にはフロッピィディスクドライブの\win95フォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。  例　a:\win95 （フロッピィディスクドライブがAドライブの場合） 「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選び、[OK]ボタンをクリックします。インストールが開始されます。 	3 『このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。 I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞｲｰｻﾈｯﾄｱﾀﾞﾌﾟﾀ』のメッセージ画画が表示されますので、[完了]ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。  「ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィドライブに挿入していなかった場合は、上記画面が表示されず、『このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。NE2000 Compatible』画面が表示されます。その場合は、「ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィドライブに挿入し[戻る]ボタンをクリックして、手順2からもう一度やり直してください。 

注 意

途中でWindows95のCD-ROMを要求された場合、CD-ROMを準備して
d:\win95　（CD-ROMドライブがDドライブの場合）
と入力し、画面の指示に従ってください。（FD版をご使用の場合は、Windows95のディスクを挿入するドライブを指定し、画面の指示に従って、ディスクを入れ替えてください。）

上記のCD-ROM等からのファイルコピーの途中で
「....のファイル　ETIAT.DO_（またはSY_）　のファイルが見つかりませんでした。」
とエラー表示された場合は、以下の例のフロッピィディスクドライブのwin95のパス指定を行い、[OK]ボタンをクリックしてください。
例）a:\win95（下線部入力:フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）

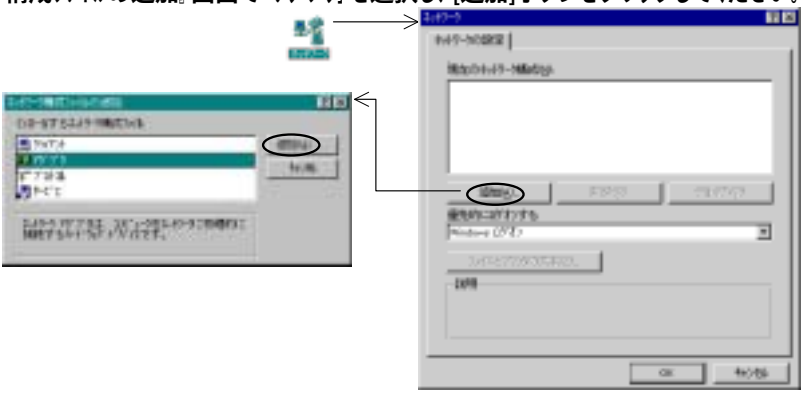


4　インストールを終了し、Windows95が起動した後、必ず一旦Windows95を再起動してください。

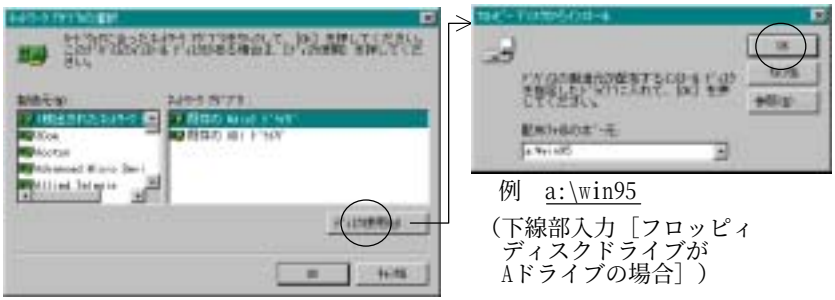
以上でインストールは終了です。次に、正常にインストールされたかの確認を行ってください。（[3.3 インストール後の確認] (P26)参照）

3.2 「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」モードでのインストール

1 Windows95起動後、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙ　ﾊﾟﾈﾙ』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックし、『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面の[追加]ボタンをクリックしてください。次に、『ﾈｯﾄﾜｰｸ構成ﾌｧｲﾙの追加』画面で「ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択し、[追加]ボタンをクリックしてください。



2 「ET-ISAｼﾘｰｽﾞ　ｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィドライブに挿入します。
『ﾈｯﾄﾜｰｸ　ｱﾀﾞﾌﾟﾀの選択』画面で[ﾃﾞｨｽｸ使用]をクリックし、『ﾌﾛｯﾋﾟｰ　ﾃﾞｨｽｸからｲﾝｽﾄｰﾙ』画面の「配布ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」にフロッピィディスクドライブのwin95フォルダのパス指定（例　a:\win95）を行います。指定後、[OK]ボタンをクリックします。



例　a:\win95
（下線部入力［フロッピィディスクドライブがAドライブの場合］）

3 『ﾈｯﾄﾜｰｸ ｱﾀﾞﾌﾟﾀの選択』画面で「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」と表示されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



4 『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面でWindows95の取扱説明書に従って各種のﾈｯﾄﾜｰｸ構成を設定してください。設定後、[OK]ボタンをクリックします。
（この設定は、Windows95再起動後、『ｺﾝﾄﾛｰﾙ ﾊﾟﾈﾙ』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックしても変更できます。）



参照

Windows95の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」の設定により、Windows95同士の「ピア･ツー･ピア」接続、「NetWareクライアント」接続、「WindowsNT4.0/3.5xクライアント」接続などが可能になります。詳細は別冊の［PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド］をご覧頂くか、ネットワークシステム管理者にご相談ください。

5 「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」画面で、「I/Oﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」および「割り込み番号(IRQ)」の設定値の前に＊印が付いていないのを確認してください。付いていた場合は、[▲]または[▼]をクリックし、設定値を変更してください。設定後、[OK]ボタンをクリックします。

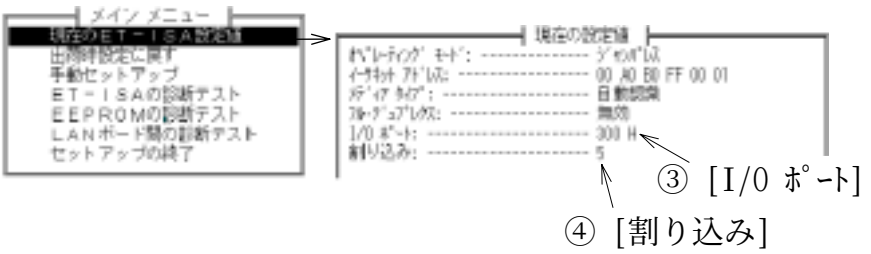
また、設定する「I/Oﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」及び「割り込み番号(IRQ)」は、【2.4 動作確認】(P12)での動作確認時のET-ISAシリーズの設定値とそれぞれ同一にしてください。

プロパティ画面　（画面A）



同一にする値は、上記の画面Aの②の「I/Oﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」と下記の画面Bでの③の「I/O ﾎﾟｰﾄ」の値です。また、画面Aの①の「割り込み番号(IRQ)」と下記の画面の④の「割り込み(INT)」の値も同一にしてください。

【2.4 動作確認】時のET-ISAシリーズの設定値　（画面B）



6 **設定後、[OK]ボタンをクリックします。インストールを開始します。**



注 意

途中でWindows95のCD-ROMを要求された場合、CD-ROMを準備して

d:\win95　（CD-ROMドライブがDドライブの場合）

と入力し、画面の指示に従ってください。（FD版をご使用の場合は、Windows95のディスクを挿入するドライブを指定し、画面の指示に従って、ディスクを入れ替えてください。）

7 **「ｼｽﾃﾑ設定の変更」画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックしてパソコンを再起動させてください。**

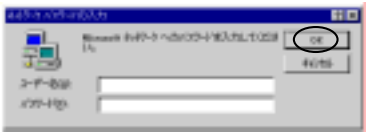
以上でインストールは終了です。次に、正常にインストールされたかの確認を行ってください。（[3.3 インストール後の確認] (次ページ)参照）

3.3 インストール後の確認

ここではET-ISAシリーズがWindows95で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。インストール終了（再起動）後、必ず以下の事を確認してください。

パソコンを再起動すると起動途中で下記の画面Aが表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
起動後、デスクトップ上に、「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンが追加されたことを確認してください。（下記の画面B）

A　「ﾈｯﾄﾜｰｸﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力」画面



B「ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ」上の「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコン



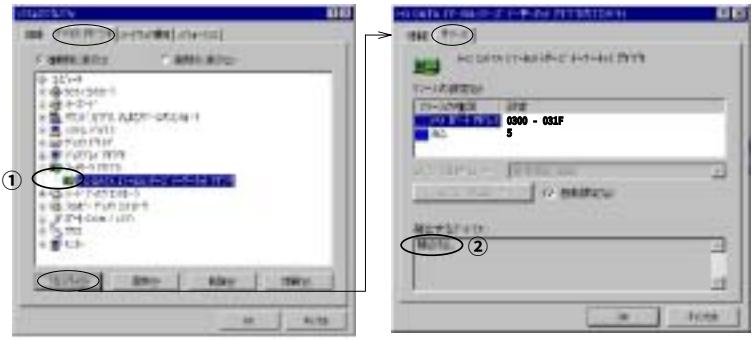
参考

Windows95では、パスワード管理も一元化されています。ユーザーID、パスワードを利用するネットワークで同一にしておけば、1つのネットワークにログインすれば、他のネットワークにユーザIDとパスワードの入力なしでログインできます。

次に、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、「ｼｽﾃﾑ」アイコンをダブルクリックします。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」タブで「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をダブルクリックします。

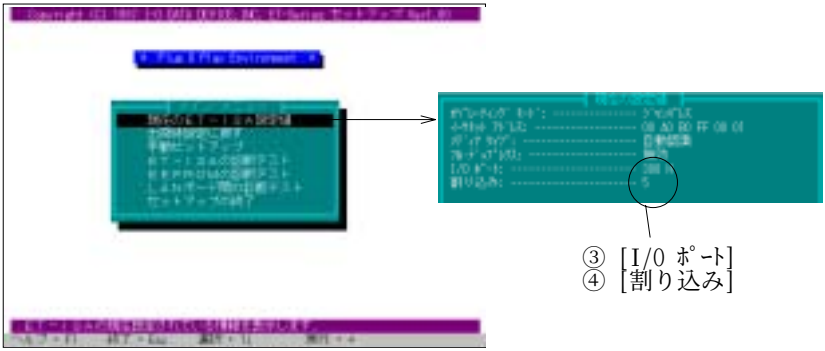
① 「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に、！マークが付いていないことを確認してください。

② 「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択後、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックし、『I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、競合するデバイスがないことを確認してください。



③ 『I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」での「I/O ﾎﾟｰﾄ ｱﾄﾞﾚｽ」と「割り込み」がそれぞれ〔2.4 動作確認〕(P12)時での設定値と同一になっていることを確認してください。

〔2.4 動作確認〕時のET-ISAシリーズの設定値



参照

①での確認で！マークがついていたり、②でデバイスが競合していた場合や③で設定値が異なる場合は、〔付録1 困った時には〕での「● Windows95上でのトラブル」(P45)を参照してください。

ネットワークシステムへの設定について

正常に認識されていることが確認されたら、Windows95でET-ISAシリーズが使用できます。この後、Windows95同士のピア･ツー･ピア接続や各種ネットワークシステム(NetWare,WindowsNT,LANtastic for Windows95)のクライアントとして使用する場合は、必要に応じて以下を参照してください。

● ピア･ツー･ピア接続の設定

別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド』の〔1.2 ピア･ツー･ピア接続の設定〕を参照してください。

● 各種ネットワークシステムへの接続

別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド』の〔1.3 各種ネットワークシステムへの接続〕を参照してください。

第4章 他のOSで使用するには

この章では、各ネットワークOSへのセットアップ方法について説明します。

4.1 日本語Windows3.1及びMS-DOSへのセットアップ

4.1.1 NetWare 3.12J/4.1J/4.11Jへのセットアップ

サーバを設定する場合は本ページ以降を、クライアントを設定する場合は「● クライアントの設定」32ページ以降を参照してください。

● サーバの設定

ドライバをインストールする前に、MS-DOS上で診断プログラムを動作させてアダプタが正常である事を確認してください。

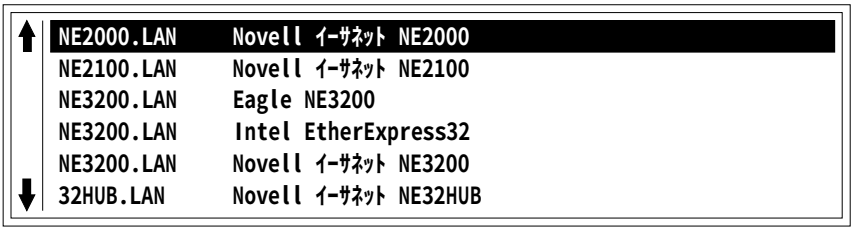


注 意

1)ET-ISAシリーズの「ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞﾓｰﾄﾞ」は、「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」モードにして設定してください。(［2.4 動作確認］(P12)参照)
2)NetWareサーバの設定を行う前に、［2.4 動作確認］(P12)でMS-DOS上での診断および設定プログラムを動作させてあらかじめリソースの設定を行います。この時の設定(「I/Oポート」のみ)はサーバのインストール時に再度設定する必要がありますので、メモしておいてください。
3)NetWare 3.12J/4.1J/4.11Jサーバを使用する前にNovell社より提供の最新のOSパッチモジュールをインストールしてください。

- **NetWare4.1J/4.11Jサーバのインストール時の場合**

1 **ネットワークドライバの設定画面で[Ins]キーを押し、「リストにないドライバ」のインストールを行います。**



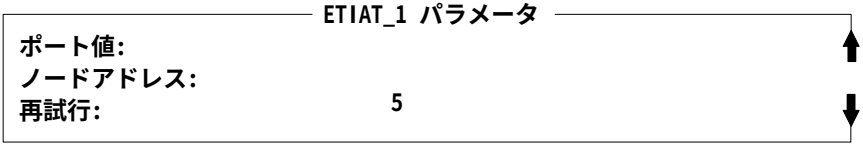
リストにないドライバのインストール<Ins>

2 **「ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、スキャンするパスと同じならそのまま・キーを押し、異なる場合は[F3]キーを押してディレクトリパス（ドライブ名のみ）を入力してください。**

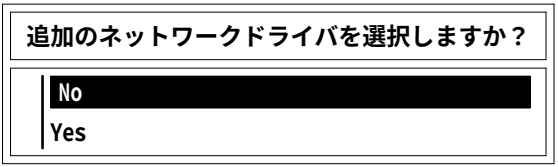
3 **インストールするドライバの選択で以下のように表示されていることを確認して、・キーを押してください。**



4 **次の画面であらかじめET-ISAシリーズに設定した「I/Oポート」をパラメータに設定してください。**



5 **さらにETシリーズを追加する場合は、「追加のネットワークドライバを選択しますか？」の画面で「Yes」を選択すると手順1～5を繰り返します。**



以上で設定は終了です。

- **NetWare4.1J/4.11Jサーバへ追加設定する場合**

1 **システムコンソールから**

xxxx:LOAD INSTALL・　　（下線部入力）

と入力し、「ﾄﾞﾗｲﾊﾞｵﾌﾟｼｮﾝ」-「ﾈｯﾄﾜｰｸﾄﾞﾗｲﾊﾞの設定」-「追加ﾄﾞﾗｲﾊﾞの選択」を選択してください。

2 **後は、「・ NetWare4.1J/4.11Jサーバのインストール時の場合」(P29)を参照してインストールしてください。追加ドライバに対する操作で「追加ﾄﾞﾗｲﾊﾞの選択」を選択してください。**

- **NetWare3.12Jサーバのインストール時の場合**

1 **サーバマシンでMS-DOSを起動してください。（サーバマシンですでにNetWareが起動している場合は、ユーザーに通知してからシャットダウンしてください。）**

2 **「ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、フロッピィドライブのnetware\serverディレクトリからNetWare3.12Jサーバがインストールされているディレクトリ（通常はserver.312）に必要なNetWareサーバ用ドライバをコピーしてください。**

```
copy a:\netware\386ODI\etiat.lan c:\server.312
```

3 **NetWare3.12Jサーバを起動して、システムコンソールから**

xxxx:LOAD INSTALL・　　（下線部入力）

と入力してください。

4 **表示されているメニューから「ｼｽﾃﾑｵﾌﾟｼｮﾝ」-「AUTOEXEC.NCFﾌｧｲﾙの編集」を選択し、下記の行を追加してください。**

（例:イーサネット802.2[フレームタイプ]を使用する場合）

```
load c:\server.312\etiat int=3 port=300 frame=ethernet_802.2 name=etiat_1_e82
bind ipx to etiat_1_e82 net=xxxx
```

（xxxxはNetWareの環境によって異なります。）

下線の部分は同じにしてください。

以上でインストールは終了です。NetWare3.12Jを再起動すると有効になります。

注 意

1) NetWare3.12Jサーバの設定は複雑です。詳細はNetWareなどの取扱説明書を参照してください。

2) autoexec.ncfに変更を加えた場合は、その環境を有効にするために必ずNetWare3.12Jサーバを再起動してください。

● クライアントの設定


参 考

サーバへの接続にはネットワークシステム管理者が決めた仕様に伴い、NET.CFGの変更が必要になる場合があります。詳細はネットワークシステム管理者にご相談ください。

設定を行う前に以下の２点を行ってください。

◎ ジャンパレスモードにしておく。

◎ 「ﾊｰﾄﾞｳｪｱ割込み」と「ﾍﾞｰｽI/Oポート」の設定値をメモする。

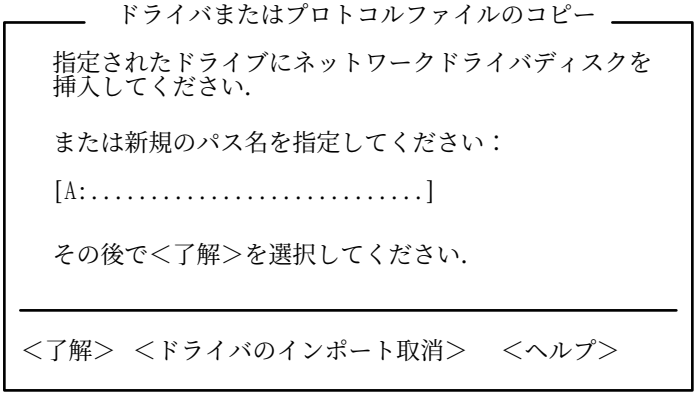
〈設定手順〉

1. NetWareのclientのinstall.batを起動し、画面の指示に従ってインストールを進めてください。
2. 「ﾈｯﾄﾜｰｸﾎﾞｰﾄﾞのﾄﾞﾗｲﾊﾞを選択してください」の項目で・キーを押してください。
3. 「ﾈｯﾄﾜｰｸﾎﾞｰﾄﾞ」一覧の一番下の「他のﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し、・キーを押してください。
4. 『ﾄﾞﾗｲﾊﾞﾃﾞｨｽｸの挿入』で「A:\NETWARE\DOSODI」（フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）と入力して・キーを押してください。
5. 「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」と表示されている事を確認して・キーを押してください。
6. 予めメモしておいた「ﾊｰﾄﾞｳｪｱ割込み」と「ﾍﾞｰｽI/Oポート」をパラメータに設定してください。
7. [F10]キーを押し、インストールを続けてください。

4.1.2 Microsoft LAN Manager V2.1xへのセットアップ

LAN Managerのsetup.exeを起動してください。

「表示/変更」－「ﾈｯﾄﾜｰｸﾄﾞﾗｲﾊﾞの登録」－「新規設定」－「その他のﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を順に選択してください。



「ドライバまたはプロトコルファイルのコピー」画面で、「ET-ISAシリーズサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、挿入したドライブ名のみを入力し、＜了解＞を選択してください。

（例：[A:.....]　下線部入力）

次に「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」が表示されている事を確認してください。

「ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙ」で任意のプロトコルを選択して「ﾈｯﾄﾜｰｸﾄﾞﾗｲﾊﾞ設定」で「了解」－「保存」でインストールは終了です。



注 意

1) DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

2) CD-ROMドライブを使用している場合は、autoexec.batの「@REM ======= LANMAN 2.1･･･････････」で囲まれた領域を「mscdex.exe」の登録箇所より先に移動してください。

4.1.3 Personal NetWare J1.0へのセットアップ

Install.exeでインストールする際に、「1次ﾈｯﾄﾜｰｸｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｶｰﾄﾞ」－「OEM製NetWareｲﾝﾀｰﾌｪｰｽの設定」を選択後、「ET-ISAシリーズサポートソフト」ディスクを入れたドライブとディレクトリを指定します。

例) a:\netware\dosodi

（下線部入力:フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。

詳細はPersonal NetWare J1.0の取扱説明書を参照してください。

注 意

DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

4.1.4 LANtastic 6.0へのセットアップ

LANtastic 6.0のInstall.exeでインストールする際に「追加機能の選択」→「ｲﾝｽﾄｰﾙ処理の継続」選択後、「NDISｻﾎﾟｰﾄ ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択します。「ET-ISAシリーズサポートソフト」ディスクを入れたドライブとディレクトリを指定します。

例) a:\lantast

（下線部入力:フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。

詳細はLANtastic 6.0の取扱説明書を参照してください。

注 意

DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

4.2 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ

注意

MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。セットアップを行う前に、〔2.4 動作確認〕(P12)を参照して正常に動作することを確認してください。その際、**オペレーティングモードは「ジャンパレス」に設定**してください。また、〔2.4 動作確認〕時に設定した「I/O ポート」及び「割り込み」はWindowsNT4.0への設定時に必要となりますので、必ずメモに取っておいてください。

ET-ISAシリーズを取り付ける前にWindowsNT4.0のネットワークの設定を既に終了している場合はアダプタの追加のみの手順となります。アダプタの追加のみの場合は、網掛けの項目のみをご覧ください。

1 WindowsNT4.0を起動します。

2 『スタート』→『設定』→『コントロールパネル』をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして開きます。別のネットワークカード等がインストールされている場合は、[アダプタ]タブをクリックして、[追加]ボタンをクリックしてください。（ネットワークがインストールされていない場合は、[Windows NT ネットワークがインストールされていません。インストールしますか ?]と表示されますので、[はい]ボタンをクリックしてください。）

3 『ネットワークセットアップウィザード』画面で、「ネットワークに接続」がチェックされている事を確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



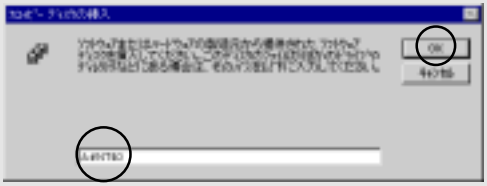
4 **検索の画面が表示されます。[一覧から選択]ボタンをクリックしてください。**



5 **アダプター一覧が表示されます。右下の[ﾃﾞｨｽｸ使用]ボタンをクリックしてください。**



6 **『ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸの挿入』画面が表示されます。フロッピードライブがAドライブの場合は「A:\NT40」と入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。**



7 『OEM オプションの選択』画面では、「I-O DATA ET-ISAシリーズ イーサネット アダプタ」をクリックし、[OK]ボタンをクリックしてください。



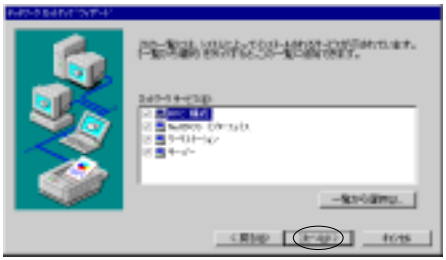
8 「I-O DATA ET-ISAシリーズ イーサネット アダプタ」のチェックボックスがチェックされているのを確認し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



9 使用する「ネットワーク プロトコル」を指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

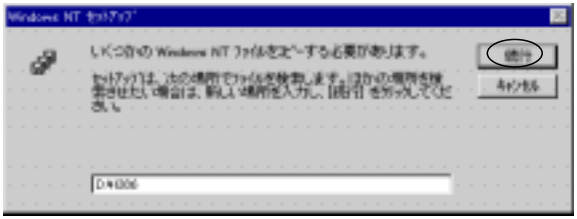


10 使用する「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｻｰﾋﾞｽ」を指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



11 「選択されたﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄとｼｽﾃﾑに必要なﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄをｲﾝｽﾄｰﾙします。.....」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックし、それぞれのコンポーネントを設定してください。設定の詳細については、WindowsNT4.0の取扱説明書をご覧になるか、またはネットワーク管理者にお尋ねください。

12 「いくつかのWindows NTﾌｧｲﾙをｺﾋﾟｰする必要があります」と表示されます。
WindowsNTのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
「D:\i386」(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力して[続行]ボタンをクリックしてください。



13 リソース設定の画面が表示されます。
ボードの設定に合わせてリソース(IRQなど)を設定し、[継続]ボタンをクリックしてください。

別のネットワークなどがインストールされている状態でET-ISAシリーズを追加した場合の作業はこれで完了です。他に必要なネットワークの設定を行ったあと、画面の指示にしたがって再起動してください。



14 ネットワークのバインドを設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



15 「ネットワークを起動する準備が整いました。」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。

16 「ﾄﾞﾒｲﾝ」または「ﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ」を設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



17 「このｺﾝﾋﾟｭｰﾀにﾈｯﾄﾜｰｸがｲﾝｽﾄｰﾙされました。.....再起動しなければなりません。」と表示されます。[完了]ボタンを押して、再起動してください。

以上でインストールは完了です。

4.3 日本語WindowsNT3.5xへのセットアップ

注意

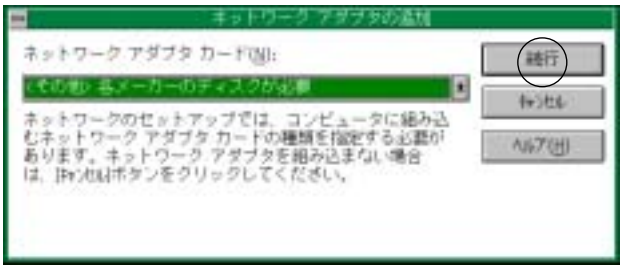
MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。セットアップを行う前に〔2.4 動作確認〕(P12)を参照して正常に動作することを確認してください。その際、**ｵﾍﾟﾚｰﾃｨﾝｸﾞﾓｰﾄﾞは「ｼﾞｬﾝﾊﾟﾚｽ」に設定**してください。

1 WindowsNT3.5xを起動します。

2 『メイン』－『コントロールパネル』の「ﾈｯﾄﾜｰｸ」アイコンをダブルクリックし、『ネットワークの設定』画面の「ｱﾀﾞﾌﾟﾀ ｶｰﾄﾞの追加」ボタンをクリックしてください。



3 『ネットワーク アダプタの追加』画面の「ネットワーク アダプタ カード」の項目で「<その他>各メーカーのディスクが必要」を選択し、[続行]ボタンをクリックしてください。



4 『フロッピーディスクの挿入』画面で「ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、フロッピィディスクドライブのパス指定を行います。

例) a:\nt35x （下線部入力［ﾌﾛｯﾋﾟｨﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合］）



5 『OEM ｵﾌﾟｼｮﾝの選択』画面で「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」と表示されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

6 『I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ ｾｯﾄｱｯﾌﾟ』画面でボードの設定にあわせてリソースを設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

7 『コントロールパネル』→『ネットワーク』画面でWindowsNT3.5xの取扱説明書に従って各種のネットワーク構成を設定してください。

参考

WindowsNT3.5xの「ﾈｯﾄﾜｰｸ」、「ｻｰﾊﾞ」、「FTPｻｰﾊﾞ」、「ﾌｧｲﾙﾏﾈｰｼﾞｬ」、「ﾕｰｻﾞﾏﾈｰｼﾞｬ」の設定により、WindowsNT3.5x同士の「ピア・ツー・ピア」接続、「NetWareクライアント」接続、「WindowsNT3.5xクライアント」接続などが可能になります。詳細はWindowsNT3.5xの取扱説明書をご覧頂くか、ネットワークシステム管理者にご相談ください。

付録1 困った時には

ET-ISAシリーズが異常になる理由は様々です。(ネットワーク回線が接続されていないなど、ユーザーによって容易に改善できる場合もあります。)
この章では、個々の共通のトラブルを解決するヒントを提供します。

● 自己診断中のトラブル

MS-DOS上で動作するetsetup.exeの「LANアダプタの自己診断及び設定」でET-ISAシリーズの診断とネットワーク回線のチェックが行えます。
インストール時のトラブルの多くは、各種デバイスドライバとのパソコン資源の競合によって発生します。
インストール時の障害を追求するための一番良い方法は、パソコンのCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの日本語環境のみを使用して起動することです。
MS-DOS6.x以降の場合は、DOSの起動時に[F8]キーを押しながら、パソコンを再起動してください。([Y]キー,[N]キーで組み込むドライバを選択してください。)そうでなければ、日本語環境で起動可能なシステムディスクを作成し、パソコンを再起動してください。

1) 非シールドツイストペア(UTP)接続で、アダプタ異常という結果になる。
   Lk(リンク)LEDインジケーターは、OFFになる。
   電源を入れた直後から画面に何も表示されない。
2) アダプタルーティングの診断テストは、外部ループバックテストの異常という結果になる。

原因 10BASE-Tのツイストペア接続に異常がある。

対処 RJ-45接続が外れていないか、ケーブルの種類(クロスケーブルとストレートケーブル)が間違っていないかを調べてください。確認後システムを再起動し、再び診断プログラム(etsetup.exe)を動かしてテストしてください。

1) BNC接続で、アダプタ異常という結果になる。
Tx(送信)LEDインジケータが不規則に点滅する。
2) アダプタルーティングの診断テストは、外部ループバックテストの異常という結果になる。

原因 **10BASE2の同軸ケーブル接続に異常がある。**

対処 **BNCへの接続が外れていないか、ネットワークセグメントの両方の終端が適切に終端処理（50Ωのターミネータでネットワークセグメントの端末を閉じます。）されているかを調べてください。確認後システムを再起動し、再び診断プログラムを動かしてテストしてください。**

アダプタ異常。「LANアダプタの自己診断及び設定」でハードウェア設定やハードウェア診断ができない。

原因1 **ケーブルの接続が悪い。**

対処 **RJ-45接続を使用している場合は、接続が緩んでいるまたはケーブルの種類（クロスケーブルとストレートケーブル）が間違っていないかネットワーク回線を調べてください。**

原因2 **ET-ISAシリーズが拡張スロットに正しく取り付けられていない。**

対処 **ET-ISAシリーズがパソコンの拡張スロットに確実に装着されているか調べてください。**

原因3 **パソコンの拡張スロットに、異常がある。**

対処 **トラブルが起きているET-ISAシリーズを別の拡張スロットに取り付けるか、他のパソコンに取り付け、動作テストを行ってください。**
もし、これでトラブルが解決される場合は、トラブルが起きているパソコン本体の拡張スロットに異常があることになります。ネットワークシステム管理者またはパソコンの販売店にご相談ください。

ET-ISAシリーズの環境設定の後にパソコンが異常になる。

原因 **パソコン環境が競合している。**

対処 **I/Oポートアドレスと割り込み（IRQ）が他の周辺機器と競合していないかを調べてください。**
パソコンで使用しているI/OポートアドレスがET-ISAシリーズと重なるならば、ET-ISAシリーズのI/Oポートアドレスを別の設定にしてください。
また、RJ-45接続を使用している場合は、接続の緩みやケーブルの種類（クロスケーブルとストレートケーブル）が間違っていないか回線を調べてください。

● Windows95上でのトラブル

Windows95起動途中などでアダプタが異常のエラーとなる。その他Windows95上でET-ISAシリーズが正常に動作しない。

原因 ET-ISAシリーズのリソース（「I/O ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」,「割り込み」）の設定が間違っている。

対処 以下の手順でリソースの確認及び変更を行ってみてください。

① Windows95起動後、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、「ｼｽﾃﾑ」アイコンをダブルクリックします。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」タブで「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をダブルクリックします。

② 「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」が登録（表示）されているのを確認してください。
表示されている「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をクリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」ボタンをクリックします。「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に、！マークが付いていないことを確認してください。



！マークが付いていた場合は、[削除]ボタンで「I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を一旦削除後、再度［第3章］(P18)を参照してET-ISAシリーズのドライバをインストールしてみてください。

③ [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックし、『I-O DATA ET-ISAｼﾘｰｽﾞ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、競合するデバイスがないことを確認してください。
競合している場合は、リソースを変更してみてください。
リソースの変更は、「・リソースの変更」(P47)を参照してください。

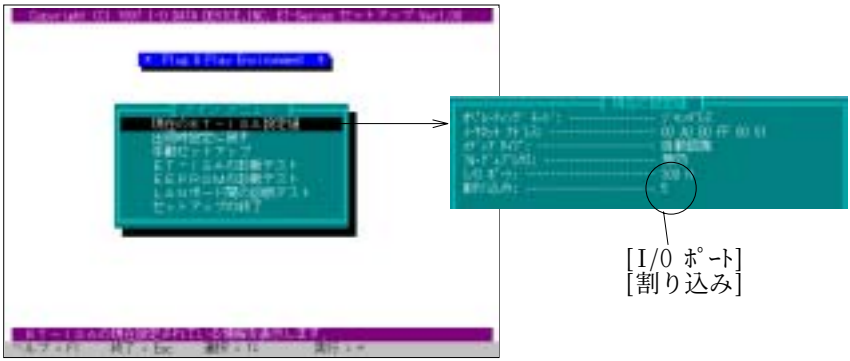
！マークも競合するデバイスもない場合は、設定しているリソースが［2.4 動作確認］(P12)時に設定しているリソースと異なっている場合があります。
現在のリソースを確認してください。（以下の④及び⑤）

④「I/O ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」及び「IRQ」(割り込み)の設定値を確認してください。確認後、メモなどに書き留めておいてください。
[OK]ボタン等で設定を全て終了し、一旦Windows95を終了してください。



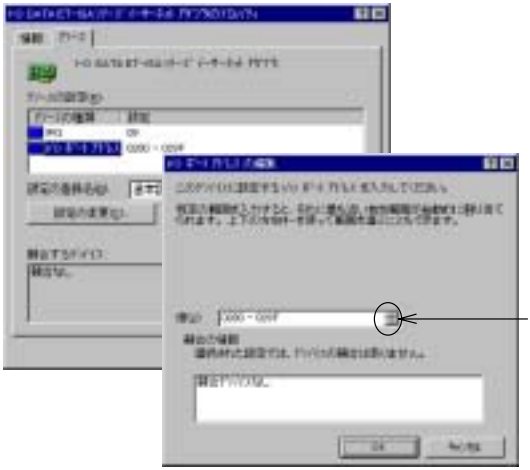
⑤ 次にetsetup.exeでの設定値を確認します。［2.4 動作確認］(P12)を参照して、「現在のＥＴ－ＩＳＡの設定値」で「I/Oﾎﾟｰﾄ」,「割り込み(IRQ)」を確認します。先ほど④でメモした設定値とあっているか確認してください。
違っている場合は、「手動セットアップ」で設定値を合わせてください。

「現在のＥＴ－ＩＳＡの設定値」画面

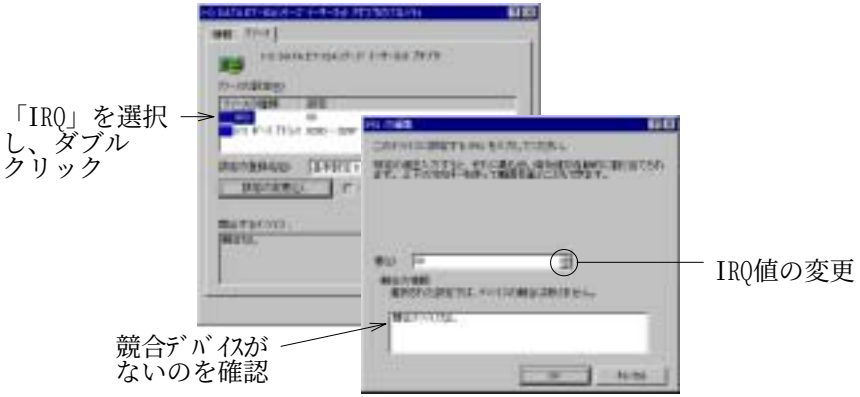


・リソースの変更

1.「I/O ポートアドレス」の変更は、『I-O DATA ET-ISAシリーズ イーサネット アダプタのプロパティ』画面の「リソース」でリソースの種類]の[I/O ポートアドレス]をダブルクリックで変更できます。



2.「割り込み(IRQ)」の変更は、『I-O DATA ET-ISAシリーズ イーサネット アダプタのプロパティ』画面の[リソースの種類]の[IRQ]をダブルクリックして変更できます。



付録2 仕様

ここではパソコンの環境状況、及びET-ISAシリーズの仕様について記述します。

付2.1 パソコン環境を確認しましょう

「割り込み(IRQ)」、「I/Oポートアドレス」、「DMAチャネル」がパソコン本体や他の拡張ボードと重複していると、パソコン本体が起動できなくなる場合があります。
この場合は、拡張ボードを全て取り外してから各拡張ボードの設定状態を確認し、重複しないように設定し直してください。
(ET-ISAシリーズは、パソコン本体に全ての拡張ボードを取り付け後、再度確認と設定を行う必要があります。【2.4 動作確認】(P12)を参照してください。)
また、各拡張ボードを使用する環境によっては、CONFIG.SYSやAUTOEXEC.BAT、Windows上の環境設定ユーティリティで変更しなければならない場合があります。(各拡張ボードの取扱説明書を参照してください。)

・パソコン本体の割り込みとDMA及びI/Oポートアドレス使用状況（一例）

パソコン本体		IRQ	DMA	I/O Port Address(備考)
タイマー		0		
キーボード・コントローラ		1		0060h～0067h
IRQ8～15のカスケード接続用		2		(IRQ9と併用不可能)
RS-232C	(COM4)	3		2E8h～2EFh
	(COM2)			2F8h～2FFh
	(COM3)	4		3E8h～3EFh
	COM1			3F8h～3FFh
(LPT2)		5		278h～27Fh
FDDコントローラ		6	2	3F0h～3F7h
LPT1		7		378h～37Fh
リアルタイムクロック		8		
未使用(IRQ2にリダイレクト接続)		9		(IRQ2と併用不可能)
未使用		10		
未使用		11		
(PS/2マウスポート)		12		0060h～0067h
数値演算コプロセッサ(80287)		13		
プライマリIDEドライブコントローラ	drive0	14		1F0h～1F7h
	drive1			3F6h～3F7h(FDと共有)
(セカンダリIDEドライブコントローラ)	drive2	15		170h～177h
	drive3			376h～377h


注 意

パソコン本体の仕様により、異なる場合があります。本体の取扱説明書などを参照して確認してください。

･各種ボードの割り込みレベルとDMA使用状況（一例）

パソコン本体		IRQ	DMA	I/Oポートアドレス
ET-ISAシリーズ(本製品)		3		300h～31Fh
GAシリーズ(VGAモード使用時)				3C0h～3DFh,46E8h
SC-DV/ISA		11		140h～14Fh
Sound Blaster16	Game Port	5	1,5	200h～207h
	SB16			220h～233h
	MIDI			330h～331h
	FM音源			388h～38Bh
Sound Blaster Pro	Game Port	5	1	200h～207h
	SB Pro			220h～233h
	MIDI			330h～331h
	FM音源			388h～389h(～39Fh)
AHA-1520/1522		11		340h～35Fh
AHA-1540/1542		11	5	330h～333h



注 意

使用可能な割り込みレベルやDMAチャネルの数は限られています。このため、拡張ボードを多く使用しようとすると、重複が避けられない場合があります。

この場合は、重複の避けられない拡張ボードと併用できません。それらのボードを必要に応じて使い分けてください。また、I/Oポートアドレスの使用状況は、各拡張ボードの取扱説明書を参照して確認してください。

付2 ハードウェア仕様

LANアダプタボード	ET/T-ISA	ET2/T-ISA
LANコネクタ	RJ-45	RJ-45,BNC
メディアタイプ	10BASE-T	10BASE-T,10BASE2
伝送方法	Baseband方式	
トポロジ	Star/Bus	
アクセス方法	CSMA/CD	
LEDインジケータ	Link(LK) Activity(ACT)	
転送レート	10Mbps	
IRQ（割り込み）	2,3,4,5,10,11,12,15	
I/Oポートアドレス	200h～3E0h(20h単位)	
使用温度範囲	0℃～55℃（パソコンの動作する温度範囲であること）	
使用湿度範囲	10%～90%（結露しないこと。パソコンの動作する湿度範囲であること）	
消費電流(MAX)	UTP:+5V/120mA	UTP:+5V/120mA BNC:+5V/400mA
サイズ	163.9mm x 102.6mm	

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (フロッピィディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■郵便

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET-ISAシリーズ」係　宛

■電話

電話番号　東京　03-5256-2010

受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■オンライン (パソコン通信)

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/
IOS-NET	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ機器ﾌｫｰﾗﾑのサポートセンター
NIFTY-Serve	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

IOS-NETのアクセスポイントや概要については「サポートソフトのバージョンアップ」をご覧ください。

LAN製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOSーNET

アクセスポイント

東京　03-5295-6570　　大阪　06-368-2291
金沢　076-234-9811　　VTX(*) 166-77100

『アイ・オー・データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。

(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし,8bit DATA,ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1, X ON,ｼﾌﾄ制御なし)				
使用文字コード	シフトJIS		制限時間	30分	
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

インターネット　http://www.iodata.co.jp/ →「サポート・ライブラリ」
NIFTY-Serve　アイ・オー・データステーション(SIODATA)のライブラリ9(LIB 9)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「ET-ISAシリーズ」　バージョンアップ係　宛
電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社サポートセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

●修理品送付先

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「ET-ISAｼﾘｰｽﾞ」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

ET-ISAシリーズ 取扱説明書
1998.Feb.24 5538-02
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1997-1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVerシールをお貼りください

Verシール